

総務文教常任委員会

平成31年度一般会計予算 総務費37億7,390万円 庁舎整備と耐震化事業に13億3,000万円

平成31年度一般会計予算の内、総務委員会では、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費などの主要予算が審査されました。新角館庁舎整備事業やその他庁舎の耐震化事業などにより、総務費は前年対比54.6%と大幅にアップしています。

■平成31年度一般会計予算 (総務文教常任委員会で審査されたもの)

項目	31年度予算額	30年度予算額	比較	伸び率	備考
議会費	1億7,317万円	2億579万円	△3,262万円	△15.9%	議会運営に関する予算
総務費	37億7,390万円	24億4,060万円	13億3,330万円	54.6%	行政運営全般や企画政策等
消防費	9億6,107万円	9億4,319万円	1,788万円	1.9%	大曲仙北広域消防や消防団に関わる予算
教育費	27億8,369万円	14億4,007万円	13億4,362万円	93.3%	小中学校や幼稚園、公民館、文化財保護等の予算
公債費	21億6,660万円	21億4,191万円	2,470万円	1.2%	借金の返済

■平成31年度予算 主な内容

庁舎整備事業費	11億33万円	新角館庁舎整備事業費の内、平成31年度分
庁舎耐震化事業費	2億3,031万円	田沢湖庁舎などの耐震改修設計費用
地域運営体活動推進費交付金	3,600万円	地域運営体への活動交付金 31年度からは提案型部分900万円が削減される
生保内小学校長寿命化改修事業費	2,834万円	生保内小学校の大規模改修事業についての設計費
小学校施設大規模改修事業費	1億182万円	松木内小学校の体育館改修工事費
総合給食センター建設事業費	11億8,184万円	総合給食センターの建設事業費

ここが知りたい 議論のポイント

平成31年度一般会計補正の主な質疑

新角館庁舎整備事業

入札不調の今後は?

質問 新角館庁舎建設工事の入札が不調に終わった原因と今後について伺う。

答弁 入札辞退の理由は参加予定4社中、1社が「予定価格と積算額が合わない」としており、残る3社は「都合により辞退」としている。今後は再度の指名審査会を経て、設計変更等はせず再度の入札を行う予定だが、3月の改正による労務単価上昇と、契約が4月以降にずれ込むことによる、消費税分2%を見込む必要がある。全体の事業費枠内で行うこととしたい。

地域運営体活動推進費交付金はなぜ減額されるのか?

質問 交付金が前年度の4,500万円から3,600万円へと減額された理由は何か?

答弁 これまでの実績を勘案して、提案型事業枠を廃止したため、全体で900万円の減額となる。

学校の大規模改修 小中一貫校の導入は

質問 平成31年度予算では生保内小の大規模改修事業など施設の老朽化に伴う改修費が多く盛り込まれているが、今後、中学校についても同じく老朽化が進むため、そちらも大きな改修が必要となる。維持管理の観点から、小中一貫校も視野に入れて設計を行うべきではないのか?

答弁 生保内小は築40年を超え老朽化が著しく、全面的に改修を行うための実施設計予算を計上している。生保内中も既に築30年以上経過しており、今後同様に改修が見込まれる。小中一貫校については今後の検討課題としたい。

中学校の部活動 生徒数減少でも取り組める環境を

質問 中学校の部活動は、近年生徒数の減少により、他校との合同チームで活動する場面も増えている。また、個人競技の一部では、様々な制約により大会等に参加できないケースもあると聞く。こうした状況下でも、やりたい分野に挑戦できる環境整備が必要ではないのか?

答弁 中体連の規定により、テニスのダブルスなどに制約があり、大会参加がかなわないケースもある。今後中体連に対し提案し、改善できるように努力する。

市民福祉常任委員会

平成31年度一般会計予算 民生費・衛生費 76億4,427万円

平成31年度一般会計予算の内、民生費、衛生費が審査されました。廃棄物処理施設の大曲仙北広域市町村圏組合への移管に伴い、清掃費は前年比マイナス7億814万円(-46.1%)と大幅な減額となっております。また、市立病院事業では、医師確保対策として行ってきた奨学金制度により、4月から角館総合病院に産婦人科医師1名が赴任することとなりました。

平成31年度一般会計予算 (市民福祉常任委員会で審査されたもの)

項目	31年度予算額	30年度予算額	比較	増減比率	備考	
民生費	社会福祉費	28億7,178万円	31億4,819万円	△2億7,641万円	△8.8%	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	15億5,850万円	15億8,126万円	△2,276万円	△1.4%	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	6億2,448万円	6億4,052万円	△1,604万円	△2.5%	生活保護にかかる予算
	国民年金費	840万円	944万円	△104万円	△11.0%	国民年金事務に関連する予算
	災害救助費	107万円	89万円	18万円	19.7%	災害救援に関する予算
計	50億6,422万円	53億8,030万円	△3億1,608万円	△5.9%		
衛生費	保険衛生費	5億9,715万円	6億7,079万円	△7,364万円	△11.0%	病気予防や医師確保、歯科診療所、浄化槽整備など
	水道費	2億594万円	1億8,073万円	2,520万円	13.9%	簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算
	病院費	9億5,000万円	9億844万円	4,156万円	4.6%	病院事業に対する補助などの予算
	清掃費	8億2,696万円	15億3,510万円	△7億814万円	△46.1%	ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費
	計	25億8,005万円	32億9,506万円	△7億1,501万円	△21.7%	

平成31年度予算 主な内容

障害者支援施設「かわ船の里角間川」改築事業費補助金	2,277万円	「かわ船の里角間川」建設事業への助成。
介護タクシー利用助成事業費	59万円	在宅要介護認定者が、通院などに利用した場合半額を助成。
幼児教育推進事業費	157万円	幼児教育推進のため、教育・保育アドバイザーを配置。
社会福祉法人はなさき仙北補助金	7,900万円	市内認定こども園を運営する「はなさき仙北」への補助。
医師確保対策事業費	2,482万円	将来、指定医療機関に勤務する意思のある学生への修学資金。

ここが知りたい 議論のポイント

平成31年度 一般会計予算の主な質疑

障害者支援施設「かわ船の里角間川」への補助金について

質問 「かわ船の里角間川」へのこれまでの支払額と今後の支払額は。

答弁 4年間にわたった工事は来年度で終了する。総事業費が約13億5,500万円で、仙北市の負担額は4年間で2億6,763万9千円である。平成31年度の2,277万1千円は最後の工事費負担である。

介護タクシー利用助成事業費について

質問 介護タクシー利用助成事業費は新規事業だが詳しい内容は。

答弁 社会福祉協議会に委託していた事業だが、車両の耐用年数により、介護タクシー2事業所に依頼し、介護保険外のサービスとして利用した場合、半額を補助する事業である。



■完成した「かわ船の里角間川」の室内

社会福祉法人はなさき仙北補助金について
質問 はなさき仙北への職員派遣終了と補助金の内容は。

答弁 平成31年度は、保育士4名、事務員1名の派遣を解き市に戻す形になる。
補助金については、新規採用する保育士を含め主に人件費に充てられる。

医師確保対策事業費について

質問 当初予算2,482万円の内容とその効果は。

答弁 主なものは修学資金で、医師だけでなく看護師や薬剤師、医学療養師等も含む。新年度は医師1名、看護師2名の貸付を予定している。効果としては、4月から産婦人科の先生1名が赴任する。

産業建設常任委員会

平成31年度一般会計予算 土木費14億7,816万円 前年比12.7%の減

平成31年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産業費、商工費、土木費などの主要予算が審査されました。内、土木費は前年度対比で、マイナス2億1,524万円（-12.7%）と減額幅が大きくなっておりませんが、これは、冬期間の除雪費が当初予算に計上されていないためです。市では9月に補正予算措置する予定としています。

■平成31年度一般会計予算（産業建設常任委員会で審査されたもの）

項目	31年度予算額	30年度予算額	比較	増減比率	備考
労働費	6,804万円	6,887万円	△83万円	△1.2%	緊急雇用対策事業など
農林水産業費	11億3,278万円	12億971万円	△7,693万円	△6.4%	農業・畜産・林業・漁業関係の予算
商工費	9億432万円	9億3,409万円	△2,977万円	△3.2%	商工業活性化や観光に関する予算
土木費	14億7,816万円	16億9,341万円	△2億1,524万円	△12.7%	道路や橋梁の整備・維持などに関する予算

■平成31年度予算 主な内容

農業夢プラン型戦略作物等生産基盤 拡大事業費	3,239万円	米に依存しない複合経営等に関する市内認定農業者への支援
元気な中山間資源を生かす生産体制 整備事業補助金	1,268万円	中山間地域の畑地化整備・6次産業化への機械等の導入補助
薬用作物等産地拠点化支援事業費	144万円	生薬メーカーと連携し薬用作物等の産地化を推進
新規就農総合支援事業費補助金	1,500万円	青年の新規就農者増加のための補助
企業誘致対策事業費	30万円	田沢湖黒沢工業団地の維持管理及び企業誘致活動
地域ブランディングによる 観光まちづくり事業費	2,120万円	外国人観光客の受入体制整備、観光プロモーション等
冬期交通対策費	2,982万円	市道等の除排雪による冬期間の交通確保

ここが知りたい 議論のポイント

平成31年度一般会計予算の主な質疑

農業振興に関する予算はなぜ減額？

質問 農業振興費全体の減額が大きく、特に農業夢プラン型戦略作物等生産基盤拡大事業と元気な中山間資源を活かす生産体制整備事業費補助金の減額が3,300万円程あるがその理由は？

答弁 どちらも全県で人気のある事業である。県単独事業であり要望量も多いが、県全体の予算額が減少しており、予算の枠取りが前年よりも減ったため事業費ベースが下がっている。

薬用作物の産地化について

質問 薬用作物等産地拠点化支援事業費における平成30年度の状況と課題は？

答弁 組合員は、31の個人・団体である。当初はジャコシを作付けしたが仙北市の風土に合わないことからシャクヤクにシフトしている。平成31年度は2町歩増やす計画である。

若者へのさらなる就農支援を

質問 農業を取り巻く環境が厳しくなる中で、新規就農者の確保に向けた取り組みは行われているが、若い人がなかなか就農しない現実がある。当局では根本的な理由をどう捉えているのか。

答弁 大きな要因としては収入が安定していないことだ。米だけでは限界がある。園芸や畜産などを推奨し安定した収入の確保に繋げる取り組みを進めていきたい。

企業誘致はどうなっているのか

質問 黒沢工業団地への企業誘致の進捗及び市内企業の市有地への移転事業についてはどうなっているのか。

答弁 黒沢工業団地については、食物工場の現地法人立上げのため、間もなく国に補助金申請に入る。市内企業の市有地への移転事業は、進め方に丁寧さを欠き、企業と市民の方々に迷惑をかけ本当に申し訳なく思っている。雇用確保の重要性を理解して頂き、市民の意見を取り入れながら対応していく。

除雪費の当初予算額はなぜ少ないのか

質問 冬期間の除雪費である冬期交通対策費の当初予算が随分少ないが大丈夫なのか。

答弁 除雪費として、3億5千万円ほど要求したが、982万円しか計上されなかった。3億2千万円ほど削られている。除雪費は9月の補正予算で対応することになると思われる。



■市の除雪費
大半は9月に補正される見込みとなった